



がん研有明病院

トータルケアセンター通信

2024年10月25日発行 第7号

公益財団法人 がん研究会 有明病院
トータルケアセンター

〒135-8550
東京都江東区有明3-8-31
TEL:03-3520-0111(代表)

🌸 ご挨拶 🌸

～当院の対外的な取り組み～

トータルケアセンターの「患者・家族支援部」では、様々な取り組みをしていますが、院内の患者さんへのよい医療を目指すだけでなく、対外的な活動にも力を入れています。全国の医療者の皆様と連携しながら、世界中の患者さん、市民の皆さん、社会全体へ向けた発信をしていくことも大事なミッションと考えています。

今年3月には、AYA世代(15～39歳)がんの全国的な啓発活動であるAYA weekの一環として、当院主催で「AYAフェスタ」を開催しました。会場は、病院近くのショッピングモール「有明ガーデン」で、買い物や食事に来た通りすがりの地域住民とも交流することができ、有意義でした。

私自身、AYA week 2025の副実行委員長を務めたり、読売新聞の「ヨミドクター」でコラムを連載したり、テレビドラマや映画の医療監修をしたり、いろいろと対外活動をしています。中でも注力しているのは、「がん教育」です。がん専門医などが、外部講師として小中高の学校を訪れ、がんについて正しく知るための授業をするもので、純粋なまなざしの子供たちに、熱く語りかけています。

「がんになっても、誰もが自分らしく生きられる社会」を創っていくために、これからも、様々な形で取り組んでいきたいと思っています。

院長補佐 兼
患者・家族支援部長
高野 利実



診療科紹介



～血液腫瘍科～

血液腫瘍科の三本柱は「診療・研究・教育」です。当科では、主に血液がんであるリンパ腫、骨髄腫、白血病の診療を行っています。すべての患者さんの診療方針は、毎週開催される当科医師全員、連携診療科医師、薬剤師、看護師、治験コーディネーターが参加する当科カンファレンスで検討・決定されます。リンパ腫診断に関しては、病理医との合同カンファレンスが毎週開催されています。

研究面では、リンパ腫・骨髄腫の臨床試験において国内で中心的な役割を担っています。また、当科では日本で承認されているリンパ腫・骨髄腫に対する多くの薬剤開発に関わってきました。現在も国内外で開発されている新規薬剤の複数の治験を行っています。患者さんに少しでも多くの治療選択肢を提供できるよう、スタッフ一丸となって診療と研究に努めています。

また当科では研修を希望する若手医師への教育体制を整えています。レクチャーシリーズの開催、臨床経験とそれに基づく臨床研究の立案と遂行、学会発表・論文作成まで経験豊かなスタッフが指導しています。血液がんの患者さんがおられましたら、疑いの段階(確定診断前)でも結構ですのでお気軽にご紹介下さい。丁寧に対応させていただきます。

院長補佐 兼
血液腫瘍科部長
丸山 大



がん研有明病院
THE CANCER INSTITUTE HOSPITAL OF JFCR

部長着任挨拶

大腸外科

2024年7月に、福長洋介先生の関西医大教授栄転に伴い後任部長を拝命いたしました秋吉高志と申します。私は1999年に九州大学を卒業し、2007年からがん研にレジデントとして勤務し、大腸外科の研鑽を積んで参りました。歴史あるがん研の名に恥じぬよう、今後も常に自身および大腸外科スタッフの知識・技量を改善・発展させ、ひとりでも多くの大腸がん患者さんに親切・安全かつ質の高い治療を提供できるよう努力を続けていく所存です。

大腸外科の2023年の手術件数は年間1,070件、うち初発大腸癌が639件で95%は鏡視下あるいはロボット支援下手術で行っており、難易度の高い再発癌等に対する拡大手術も得意としております。進行直腸癌に対しては術前化学放射線療法+術前化学療法を組み合わせるtotal neoadjuvant therapy(TNT)を積極的に行っており、これまでは永久人工肛門しか選択肢がなかった患者さんもWatch & Wait(WW)により手術が回避できるようになってきました。外科医として「癌を確実に切除して根治を目指す」ことを追求しながらも、個々の患者さんにとって最も適した治療を提供することを心がけていきたいと考えております。

今後ともがん研の大腸外科を何卒よろしく願いいたします。

大腸外科部長 兼
直腸がん集学的治療センター長
秋吉 高志



総合腫瘍科

皆さんこんにちは。2024年10月1日より、総合腫瘍科の部長に着任しました三浦裕司と申します。私は2002年に鹿児島大学を卒業し、キャリアのほとんどを様々ながん種を扱うGeneral Medical Oncologyの部門で過ごしてきました。現在は泌尿器腫瘍や免疫療法を専門としております。この度、臨床と研究の両面で日本のがん治療を長年牽引してきたがん研究会の一員となれることを大変嬉しく、かつワクワクしております。

さて、この度、総合腫瘍科という素晴らしいチームを率いることになり、下記3つのcore valueを掲げたいと思っています。Core valueとは、チームの信念であり、迷う時に立ち返るべき道標でもあります。

1. Integrity: 真摯な態度で向き合おう
2. Discovery: 新しいものを見つけに行こう
3. Devotion: 思いやりの心で人のためになることをしよう

人と科学に誠実に向き合い、世界を少しでも良くするためにチャレンジし、そして医療とそれに関わる全ての人への献身を旨とする、そのようなチームでありたいと思っています。よろしく願いします。

総合腫瘍科部長
三浦 裕司

